

**やりがいのあるロータリークラブ
活動を実践しよう！**
第2132回例会 令和4年12月12日

本日の例会プログラム 第2133回例会 令和4年12月19日

夜間例会(年末家族懇親会)

宮崎観光ホテル ディアマンルージュ

12月の月間 疾病予防と治療月間
出席委員会報告

池田靖洋委員長

●出席状況
本日状況

会員数	(50)	52名
本日欠席者数		19名
本日出席者数		33名
出席率		66.00%

前々回修正出席状況

マークアップ数	3名
修正出席率	68.63%
マークアップされた方	
大田寛子会員、島田博良会員、 寺村明之会員	

ニコニコ BOX	1件 累計	2,000円 52,000円
-------------	----------	-------------------

募金箱	5,542円 累計 107,696円
-----	-----------------------

会長挨拶

開地俊昭会長



皆さんこんにちは

昨日は本年度第2回の宮崎南ロータリークラブの親睦ゴルフコンペへご参加いただきありがとうございました。午後からは若干風もでてきましたが、12月とは思えないぐらい温暖な天気で、ケガもなく終わることができて、大変うれしく思います。

この親睦事業に関してですが、自分がロータリーに入ったころと比べて、変わってきているところが何か所かありますので、せっかくですからここでお話をさせていただきたいと思います。南ロータリー自体は48年を迎えておりまから、私が入会した15年前とはその時点で変わっていると思いますが、そこはご容赦ください。まず開催は親睦委員会主催で年6回開催され、基本奇数月で開催するように言われました。これはベースに宮崎銀行さんの大淀支店のパーム会が偶数月に開催されたのを踏まえていました。また場所に関してはやはり宮崎カントリーを基本開催として、イレギュラーでほかのゴルフ場を選ぶ方が主流だったみたいです。また表彰式に関しては当然その場で行われておりました。今と大きく違うなというのが会長による優勝者のトロフィーがありその授与が毎回持ち回りで行われ、次年度の最初のコンペでそのトロフィーの争奪するチャンピオンの組が作られ、争奪戦が行われておりました。当時私自身ゴルフに相当はまっていた時であり、そこには長澤会員も、川村会員もいなかったため、すぐこの取り切り杯で優勝させてもらいました。また霧島に

1泊する親睦コンペも開催されたこともありました、青島のグランドゴルフ大会を入れたこともあります。また実現はしませんでしたが、綾町で開催されていたウォーキング大会への参加、ボーリング大会の開催などいろいろな形で行われています。何を言いたいかというと、時代とともにいろいろな形に変わっていくのは構わないということです。その時、その時でいいと思われることにチャレンジして交流を深めて欲しいと思います。ただ変化させる時には、全てを分かった上とは言いませんが、前例がわかった上で、その時その時の、ニーズや思いを乗せて変化をしていってほしいと思います。たまに変化をさせるとそれは違うという意見も出たりしますが、何が正解なのかは変化させてみないとわかりません。

私に一番ない言葉ではありますが、その意見を恐れることなく、情熱をもって変化し続けていきましょう。

幹事報告

田口幸登幹事



- 青森県津軽地方豪雨災害支援金のお礼と報告です。8月の青森県津軽地方豪雨災害に際しまして、総額48,330,000円となりました。当

2730地区からは2,748,195円です。ご支援、ご協力に深く感謝申し上げます。

- ガバナー事務所より年末年始の執務について
12/29(木)～1/4(水)は休みとの事です。
- 今月（12月）の国際ロータリーの為替レートは
1 \$ = 138円となっています。

親睦委員会

村野 裕委員



① 開地年度第2回親睦ゴルフコンペ
皆様のご協力のもと、無事開催終了いたしました。

第3回は年明け1/29です。皆様のご参加をお待ちしております。

② 年末懇親会

12/19 18:30 ~

宮崎観光ホテル「ディアマンルージュ」にて
当日物品をお持ちになる方は、事前に事務局へご連絡をお願いいたします。

③ 年始懇親会

1/16 シーガイア・コンベンションセンターにて開催予定です。

当社まで通常例会がないため、事務局よりFAXにてご案内をいたします。

出欠のご連絡を事務局までお願いいたします。

ニコニコBOX



長澤好太郎会員

メンバーに恵まれて優勝しました。
次回も頑張ります。

次年度SAA発表

井上竜志会長エレクト



日高安隆会員になります。



会員卓話

丸山一郎会員

皆さんこんにちは。このところ若い会員さんが増えまして、顔を見ても名前が出てこない方が多くなり、会員名簿で確認することが増えてまいりました。必然的に自分の欄を見ることになりますが2年近く前に退職しましたので勤務先是四角の空白となっていまして無職ということが見える化されて一抹の寂しさを味わうことになります。無職の自分が職業奉仕を根本理念とするロータリーに在籍することに矛盾はないのかという気持ちがわいてまいります。

長生きの秘訣はその日にすることが決まっていることと聞いたことがあります、職を離ると生活のリズムが狂ってまいります。毎日のすることと言えば神棚への礼拝、朝食の準備、ゴミ出し、母のデイケアへの送り出し、財布の中身の確認と預金の引き出し、不足する食材の調達など雑事はたくさんありますが、今までの仕事に代わることや終活と言われるようなことはついついなかなか手を付けづらくて進みません。自己反省の毎日であります。

話は違いますが一抹の寂しさということでは結婚記念日の鉢物を永年扱わせていただいておりまして大変感謝しておりますが連れ合いを亡くした途端、私の家には鉢物は届かぬことになりますして小さな寂しさを感じております。せっかく独身になったのだから、新しい結婚記念日を作ればいいではないかと言われてもそんな元気はあるはずもなく、妻を亡くしても結婚記念日というものはあるわけで神前、仏前に供えることもできますし、その他の家族も喜んでくれるでしょうから、みんなに公平かどうかという観点からも一考願えるとありがたいと思います。

さて、わたくしは大宮高校の近くに住んでおりますので毎朝通学の生徒さん方と出くわします。たまには自転車に乗りながらスマホを見る子もありますし、歩きながら本を読む子もあります。試験勉強をしているのかもしれません。大きなザックを背中にスマホを見ながら通り過ぎるのを見るとこれはどこかで見た風景だな思いました。そうです小学校のころ校庭で仰ぎ見ていた二宮金次郎の銅像そっくりです。

勤勉という徳目の手本が今日の前に生きてあるわけです。見ている内容はゲームか英語のテキストかメールか何なのかわかりませんが夢中になる何かであるわけで一概に否定することはできません。サラリーマン風の人たちにもそういう姿を見ることもあってせわしない時間を生きているなあと思うわけです。わたしが小学校に入学したころは金次郎の銅像も天皇の御真影を収めた奉安殿も運動場の片隅にありました。入学前にかたかなをおぼえていきましたらひらがながら教えられました。私の世代は戦後教育の一期生というわけです。それから考えると世の中変わったなあとも、変わらないものだとと思うのです。

さてまた話は違いますが私の家に出入りしてくれる人たちの家族に引きこもりの子供を抱えその子が中年を迎えている例が結構多いということを実感しています。女の子は少ないですね。たいていは男の子で母親は部屋まで食事を運んでやったり、その子が一生食うに困らないようにアルバイトまでしてせっせと預金をして頑張っておられます私が冗談に家から追い出すのが一番だよとか勝手を言うんですが母親はかわいくて仕方がないらしく冷たい目で見られます。その人たちがよく言われるのが「でもね、あの子はパソコンが得意なのよ」という言葉です。世間と実感としてつながりを持たない人のパソコンの能力が仕事に役に立てるものかどうか疑問に思うところもありますがそうするとネットで株でもやって親よりも結構稼いでいるかもしれない。生活の糧を得るという事から見ると立派な職業人ではないのか。そう思って証券会社の営業の方にも聞いてみました。「株取引はあまりないとおもいますがオークションとがユーチューバーとかいう方は結構いるのでは」ということでした。日大理事長になった林真理子さんの書いた「8050」という小説があると聞き買ってきました。50になった子供が80の親の年金をあてにする。あるいは50になった引きこもりの子を80の親が介護をするという言葉ですが内容がかなりシビアな問題であるのでまだ開いて見ておりません。私自身は世の中とつながりを持ち定職に就きミッション・パッション・ビジョンを持って生きて行ってもらいたいと思うばかりですが 一体職業とは何なのか ロータリーの職業観も変わらざるを得ないのかなと思います。もともと一業種1人を原則として多様な会員、多様な考えを重視するロータリーですから無職という職業分類も認めるようになるのではないかでしょうか。

一見真面目そうに見えて遊びかもしれないスマホ歩きや怠惰に見えて身も心もさいなまれて悩んでいる引きこもりの多さを見るにつけ悩ましいばかりです。

今回特に話すことないので吉田兼好に倣い心に移り行くよしなしごとをそこはかとなく話してまいりましたがまさに怪しゅうこそもの狂おしけれということになりました。

これで終わりとします。

会員卓話

池田靖洋会員



私のおいたちについて

私は、昭和48年4月11日に月見ヶ丘で生まれました。

父は、宮崎交通のグループ会社のビルメンテナンス事業熱源センターという会社で働いてました。母は専業主婦、祖父は池田調理師会という調理師会の会長をしており、祖父ちゃん子だった私は祖父ちゃんの仕事について周り全国各地を飛び回りお弟子さんにおもちゃを買ってもらうのが樂しみでした。

小学生の時は今この体型からは想像がつかないでしがスポーツ万能で特に走る事と泳ぐ事が大好きで1年生から6年生まで全校リレーの選手で6年生の時行われた宮崎市の陸上大会で1位、スイミング教室には行ったことがないのですが宮崎市の水泳大会で100m平泳で5位になりました。

この当時、身長は168cmあり靴のサイズも27.5cmとかなり大きく、父は159cm母は143cmと小柄なのですが異常変異で私だけ大きく育ちました。

もう時効のことでしょうからお話ししますがこの頃からタバコを覚えました。

中学校に入るとその当時はやってましたビーバップハイスクールという映画の影響で喧嘩の強い者がかっこいいという間違った認識を覚え喧嘩ばかりして県下一の悪学校というので私が在学してました中学校が有名になりました。

その中でも部活だけは父の影響で始めてたバレーボールを3年間続けました。

喧嘩ばかりしてたせいで担任の先生からはあなたを推薦する高校はありませんとはっきり言われました。

しかし、部活だけは頑張ったおかげで名門校の都城工業高校、現在ガバナー補佐の藤元監督に声をかけていただきましたが監督の家に下宿というのが引っ掛かり母に相談したところ他3校特待の話が来るとの事でその中で勉強嫌いだった私にぴったりの学校で毎日4時間授業という日章学園高等学校の体育専攻科に入学することに決めました。

その頃、孤独を感じるようになり喧嘩ばかりしていたせいで本当の友達がいないことに気づ

くようになりました。高校に入り真剣に自分を見つめ直し威張ることを止めようと思い高校生活がスタートしました。

クラスはスポーツ特待の男ばかり68人のクラスで巨人の集まりのクラスでした。

クラスメイトはほぼ寮生で、私は毎日16kmの道のりを自転車で通学していました。高校生活は謙虚に過ごすと決めてたのですが、そうすると寮生じゃない私はいじめにあうようになりました。初めのうちは我慢してたのですが廊下を歩いてたらいきなり飛び蹴りをされ、それにキレてしまいボコボコにやっつけてしまいました。

しかしそれをきっかけに仲良くなり卒業して30年以上なるのですが、今でも仲のいい友達です。

部活動では、先輩後輩も監督も厳しく1年奴隸・2年平民・3年神様と言われてました。

練習時間も朝7時から8時までが朝練で13時から21時までという厳しい練習でした。

68名の新入部員が入ってきたのですが、夏休みが終わる頃には7名まで減っていました。楽しい事・キツイ事と大きい山のあった高校生活もあつという間に過ぎ、卒業して木脇にある今のデンソー宮崎、昔の宮崎アスモという会社に入社し機械管理の仕事を任せられました。

一週間交代で昼勤と夜勤を入れ替わり、昼勤は月曜朝から金曜夕方まで夜勤は月曜日の夜から土曜の朝方までという勤務体制で夜勤の月曜日の昼が暇なのをきっかけに車の運転が好きだったため大型免許をとりに行き続けてけん引・大特と一種の免許を全て取りにいきました。免許を取ったら乗りたくなり株式会社矢野興業という会社の運輸部門の三興運輸という会社に21歳の時入社しました。

4ヶ月ほど大型に乗りその後トレーラーに乗る事になりました。

トレーラーと言っても幅は3.3m全長は最大33.8mタイヤの本数は34本最大積載量100tという九州では最大級のトレーラーでした。

走行は夜間のみ、積荷は種子島のロケット・川内原発のプルトニューム・自衛隊の戦闘機に

戦車、宮崎鹿児島の大きい消波ブロックの半分は私が運びました。重量が重い為、登り坂になると時速11kmしか出ず鹿児島県の敷根の坂など乗用車で走ると8分くらいの登り坂を1時間20分ほどかけて登ってました。そんなトレーラーに20代前半の若僧で乗ってたのは私だけでした。

全国を駆け回り青森県以外は全ての都道府県に行きました。そのせいで道だけは覚え今でも県外に行ってもほぼほぼナビを使う事はありません。

少しトレーラーについてお話ししたいと思います。

皆様の中でけい引の免許を持ってるよ、トレーラーに乗ってたよて方はいらっしゃいますか？よくトレーラーは大型より小回りが効くと言われますがあくまでも道路の状況次第です。逆に状況によっては入ったはいいが出れなくなる場合もあります。毎日狭い現場に行く時は悩んでました。

25歳の時に結婚をしたのをきっかけに和太鼓と出会いました。そしてその当時私の所属していましたチームの座長と先輩後輩に当たる関係で良きにしろ悪きにしろ高瀬会員とも出会いました。今振り返るとこの時が私にとって人生最初最大の分かれ道ではないかと思います。

太鼓においては、平成14年に独立し和太鼓一座天響というチームを立ち上げ県内外はもとより海外にも行かせていただき青少年育成・国際交流・伝統文化の伝承の活動をおこない年間80から100のステージをこなしてまいりました。

仕事に関しましては、平成22年に今の株式会社池田興業を設立し令和3年6月に宮崎南ロータリークラブに入会させていただき現在に至っています。

この卓話を通じ半世紀を振り返ると人との出会いの大しさを実感させられました。

改めまして皆様の足を引っ張らぬよう何かのプラスになるように頑張ってまいりますので今後ともご指導ご鞭撻の程よろしくお願い致します。

ご清聴ありがとうございました。

宮崎南ロータリークラブ

事務局 〒880-0806 宮崎市広島1丁目3-3 秀豊ビル4階
TEL. 0985-22-6767 FAX. 0985-22-9170
HP : <http://mm-rc.sakura.ne.jp/> e-mail : m.m-rc@alto.ocn.ne.jp

例会場 宮崎観光ホテル(毎週月曜日 12:30~13:30 開催)
〒880-8512 宮崎市松山1-1-1
TEL. 0985-27-1212